

編集長が行く **第4弾** 清水橋～観音橋手前まで 大岡川SUP探訪



裸木越しの太陽に照らされ、 光輝く冬の大岡川を上流へ!

間もなく観音橋。水位が高い時でも、SUPで行ける最上流は、このくらいまで。川の両側に桜並木の散歩道があり、さらに、簡単に川面にも降りられるようになっている貴重な場所。横浜SUP倶楽部・深田聖子副代表と漕ぎ上がった。撮影：豊田直之

ひたすら漕いで、 どこまで行ける？

大岡川の水が徐々に透明度を増す11月末。冬の訪れを感じる澄んだ青空の下、いつもの桜木橋を出発し、上流に向けて漕ぎ出した。

時田公園のある清水橋の辺りから弘明寺の観音橋までの約1.7kmの区間は「大岡川プロムナード」と呼ばれ、川の両側に桜並木の散歩道が整備されている。この区間をSUPで探訪した。

山王橋を越えて吉田新田の外に出ると、突然、のどかな景観が現われる。垂直だった護岸が、やや斜めになり、そこにいくらか緑が茂り、鳥が集う。おびたしい数の巨大な鯉もこの辺りの名物である。



フィールドワーク中の小学生からの質問は、ズバリ「大岡川の魅力は？」 撮影：豊田直之

道行く人たちとの距離もぐっと近づき、気軽に声をかけ合う。川面に降りられる所では、釣人やフィールドワーク中の小学生に出会い、大岡川談義に花が咲く。

大岡川は、源流域の水取沢からみなとみらい地区で東京湾に注ぐまでの、わずか15kmの間に、里山から住宅地、都市部へと目まぐるしく風景を変える。

人がそれぞれ心に思い描く懐かしい故郷の川の風景を、大岡川のどこかできっと見つけることができる。

これこそが大岡川が多くの人を惹きつける最大の魅力ではないかと思う。

観音橋より上流で川は浅く狭くなり、SUPでの探訪はできなくなる。源流域までの水上散策は、ぜひ徒歩で行なってみたいと思う。



親水機能を持たせた斜め護岸と散歩道が、のどかな景観を形成する。撮影：豊田直之



吉田新田橋File #4 『一本橋(いっぽんはし)』



「人」という文字がデザインされているユニークな高欄。建築家、澁川豊一による1988(昭和63)年の制作。

横浜市内に現存する45の関東大震災後の復興橋梁の1つで、「I型鋼桁(I型鋼を主桁に使用し

た桁橋)」の一般的な構造の橋です。横浜市の施工で、親柱に「昭和三年十月復興局建造」の銘板があります。個性的なデザインと親しみやすい名前が知られています。名前の由来は、もとは簡易的な丸太の一本橋だったから、とい

あります。横浜震災復興誌によると、復興橋として造られた最初の橋の4隅の親柱には、凝った意匠の塔柱照明が付属していたようですが、現在はありません。高欄は当時と異なっていますが、橋梁自体は当時のままのものが使用されています。



北で京浜急行が横切る復興道路20号路線。南は国道16号横須賀街道につながる。

昭和27年創業
共栄商事不動産
http://www.kamioooka.jp

【本店】横浜市港南区上大岡西1-19-4
Tel 045-842-0054/Fax 045-846-3701

【駅前支店】横浜市港南区上大岡西1-15-1 camio1F
Tel 045-842-0052/Fax 045-846-3702

【大久保支店】横浜市港南区大久保1-11-6
Tel 045-842-0058/Fax 045-842-2206

秋山眼科医院
akiyama eye clinic
http://www.hekaton-cheir.jp/akiyama-eyeclinic/

横浜市中央区尾上町3-28 横浜国際ビル4階(受付) TEL:045-641-9361

眼科 【月～金】10:00～13:00 15:00～18:00 【土曜】10:00～13:00
耳鼻咽喉科 【火・水】10:00～13:00 15:00～18:00 【月・木・金】10:00～13:00

まごころ・信頼・サービスをお届けします。

株式会社 横濱屋

- 業務用酒類卸
- スーパーマーケット
- お酒スーパー

●本社 横浜市南区宮元町4-93 TEL 045-712-2670
●業務用酒類卸(東神奈川営業所) 横浜市神奈川区千若町2-1 TEL 045-440-6440